

平成28年度 事業報告

法人事業概要

平成28年度は、経営組織のガバナンスの強化、地域における公益的な取り組みなど、平成29年4月に施行される社会福祉法の改正に向け準備を進めた一年となりました。

また、平成26年度より計画し、平成27年度社会福祉施設等施設整備費補助金事業を受け整備を進めて参りました2棟目のグループホームを3月1日に開所することができました。「ホームふくの実」の名のとおり、南砺市福野の地で新たな“福”が実るよう地域に根ざした支援を提供してまいります。

平成28年7月、神奈川県相模原市の障害者施設で起きた殺傷事件は全国的に大きな衝撃を与えるものでした。また8月には岩手県の高齢者福祉施設において台風に伴う暴風・豪雨災害により多数の入居者が亡くなるという痛ましい出来事がありました。これらのことを受け南砺警察署の協力を得た不審者対応訓練の実施、施設周囲の状況を記録できる防犯カメラの増設、また非常災害対策計画の策定など対応をとってきました。これからも防犯・防災体制を随時見直し、より安心・安全な施設づくりに取り組んでまいります。

各事業所においては、特別大きな事故もなく、利用者さんは日々の生活を送り、職員はそれぞれの業務に精力的に取り組んできました。今後は利用者さんから「選ばれる法人」であると共に、多くの人材に働きたいと思われる法人となるべく魅力ある職場づくりを進めてまいります。

法人財務状況

経済状況の厳しさが予測された中でしたが、平成28年度も安定した経営を行うことができました。

法人全体の財産の内訳では、資産の部が、現金預金等の流動資産総額409,411千円、土地、建物、備品等の固定資産総額1,049,698千円で、資産合計1,459,109千円。

負債の部が、流動負債総額61,961千円、固定負債総額86,078千円で、負債合計148,039千円となり、差し引き純資産1,311,070千円という状況です。

また、各拠点区分において、定員に対する利用率の向上に加え、有資格者の配置やより専門性のある充実したサービスの提供などにより、報酬の加算取得に努めたことで事業活動収入は増加しております。

施設整備の面では、第2グループホーム整備事業をはじめ八乙女の相談室、事務室、幹線の改修工事、木の香浴室の天井走行リフトの設置、八乙女及び木の香の防犯カメラ増設などを行いました。

これらの整備により利用者さんの快適かつ安全な日常生活の提供、地域生活を支援する体制の強化、職員の働きやすさにつながりました。事業認可をいただきました富山県をはじめ南砺市、国土交通省、共同募金会並びに関係各位のご理解とご支援に改めまして感謝申し上げます。